

## 第1号議案 2024年活動報告

このNPO活動の特徴は、気候変動に関する包括的な学習を深めながら、「環境活動家と名乗ろう！」というスローガンのもと各自の得意とする分野で会員個々ができる活動を行う、ということにあります。ですから団体としての活動というよりも、代表武本をリーダーとしたプロジェクトチームで活動をする会員や、ここで知り合った人々で構成されたチームでの活動、そして個人でできる範囲で意識を継続している人など様々です。

前述のとおり、これら今年度3回発行された活動報告書にて報告されていますので、一部これら活動における象徴的な事例のみ以下に紹介いたします。

### 自治体、行政との連携

NPO発足当時、この活動の先駆けともいえる行動がありました。

藤沢市議会に「気候非常事態宣言都市」発出を求める陳情で議会全員賛成にて決議されました。

これは当時2名の女性（のちにエコストアパパラギスタップ）の行動がきっかけになり、その後周辺の複数自治体にもこの活動が広がり、各自治体における「気候非常事態宣言都市」が広がったのです。

EU諸国をはじめとする諸外国の例を見ても「気候変動政策」をはじめとする様々な社会改革は、市民グループが原動力となり、各自治体単位での動きから国政にまで影響を及ぼすという流れが見られます。

正に「地域主権」に希望があり、民主主義の成熟した姿がそこにあるのです。

私たちのNPOの様々な活動の中でも、この様な活動が少なからず社会変革の原動力になっていると認識しています。

そういう意味でも藤沢市が開催する「藤沢市環境審議会委員」において学識者他20名の構成の中、“市民枠5名”の内2名のNPO会員が藤沢市長から任命され活動しているという事実（うち1名は2期目）そしていよいよ実現する「藤沢市気候市民会議」では、その準備段階から数名の会員が動いています。また、先月中学3年生の活動家が浅尾環境大臣から招待を受け、大臣室にてプラスチックストローをはじめとするプラスチック製品削減の訴えと提言を行ってきました。

一方、このような行動や行事等に参加するという事もなかなか出来ずにいる人も少なくありません。

いやむしろ、そういう方の方が多いのではないかと思えます。

果たして、そういう方々は「何もしなかった…」のでしょうか？

答えは「いいえ」としたいと強く思います。

NPO気候危機対策ネットワークの会員になるということ自体が行動の始まりであり、会費を納めていただき継続していただくことが、どれだけの励みになることでしょうか。

継続していく中で、地球環境の変化、気候変動の兆しに関心を持ち、そして私たちの活動を支持していただくことが変化を起こすための大きな力になっている、という事実を知っていて頂きたいと思えます。

### 組織活動

現在会員数 185名・今年度入会 18名 退会 5名（転居・海外移住等）会費滞納 48名

新規会員の加入のほとんどが「環境活動家養成コース」参加の方で、日常の勧誘活動が課題です。

## 財政課題

人が集まる機会を作り、そこで出会った人たちの行動の広がりや情報発信などを活動の中心に据えるために、エコスタアパパラギの2階を学習の場として活用してきました。(人が集まる場を重要視)しかし、会費収入を家賃等に充填するには足りず、限界を迎え、活動の縮小を迫られました。

そんな状況の中、神奈川県から活動内容を評価され初めての助成金(30万円)を受けることが出来ました。(ただし家賃、人件費などには使えない規定)更には、今春2階の一部を自然再生エネルギー普及のための事業を起ち上げた会員のお一人がここを事業所として借入ることになったことに加え、同じく複数の会員の方々からの寄付、更には多額の寄付金も頂き今年度も継続することが出来ました。

そのことによる変化は、一つが継続して「人が集まる場」を確保できたこと、二つ目はこのように郵便等による広報類の配信費用が捻出できるようになった事、そして三つ目は、将来を見据えて助成金等を受けるための申請作業等の外部委託ができる見通しです。(現段階ではまだ年間数万円単位の予算規模)

## イベント・行事等の開催記録(2024年度期間)

- ◆ネイチャセミナー 計32回開催 ◆国内各地主催団体からの依頼講演会(武本)計72回
- ◆環境活動家養成コース 集中コース 計3回開催 21名参加 通常コース のべ32日開催
- ◆海岸観察会 葉山海岸・江の島・稲村ヶ崎 計14回開催
- ◆体験乗船会 プランクトンマイクロプラスチック調査 計28回開催
- ◆太平洋航海プロジェクト長期～中期航海 のべ21日間 のべ29名参加
- ◆スノーケル・海洋教室 計3回開催 ◆北海道積丹半島「磯焼け調査」1回開催 4名参加
- ◆沖縄サンゴ観察ツアー 計4回開催のべ32名参加 ◆ニュージーランド海洋調査 1回開催3名参加
- ◆福島第一原発前海洋調査 計3回開催 計6名参加
- ◆外部講師招聘講演会 計11回開催 のべ312名参加
- ◆企業研修(体験乗船と海洋調査体験)計8回 計8企業・団体等 のべ89名参加
- ◆「湘南 平和憲法の碑を建立する会」共催行事 11回開催 のべ約320名参加
- ◆帆船 VelvetMoon による国際環境 NGO との連携調査等
  - ・映画「Apology to Earth」(地球への謝罪)米テキサス州 NGO 映画製作協力
  - ・米国環境 NGO 「オイルフィード・ウイットネス」による LNG 発電所からのメタンガス排出調査

以上の記録は、代表武本が担当若しくはチームリーダーとなって会員の皆さんと行ったプロジェクトによる活動実践記録ですが、会員個々の活動記録は多岐にわたります。

SNS・別紙にて発行のカラーリーフレットなどで都度行っていることを重ねてご報告いたします。

## 第2号議案 2025年度活動計画

地球の平均気温の上昇は止まりません、しかし「人が行ったことが原因であることは人が英知を結集すれば止められる!」という信念を持ち「めいっばい!」奮起し行動してきました。

2025年度も上記の報告通りの活動を継続したいと思います。

どうぞ更なるご支援をお願いいたします。